

平成28年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

課題番号	18002014	研究期間	平成18年度～平成22年度
研究課題名	新型インフルエンザウイルスの出現機構とその制圧		
研究代表者名	河岡 義裕	研究期間終了時の所属・職	東京大学・医科学研究所・教授
		現在の所属・職	同上

【評価意見】

研究代表者は本研究を背景として、研究期間終了後も引き続きインフルエンザウイルスを対象に、病原性や感染性の機構解明、人工合成ウイルスの病原性解析、電子線トモグラフィ法によるウイルス遺伝子の構造解析、感染に対する宿主応答などについて、優れた研究成果を発信し続けている。

本研究の主要論文2件はとりわけ多数引用され、また研究期間終了後も著名な学術雑誌に多数の論文を発表しており、学术界への貢献及び波及効果は絶大である。

本研究並びに期間終了後に引き続き実施された一連の研究の成果は、インフルエンザの各種パンデミック対策に資するものであり、研究成果の社会還元においても優れている。研究に参画した若手研究者の多くも大学等の研究機関に職を得て活躍しており、次世代の人材育成への貢献も高く評価される。

以上、研究期間終了後も、研究代表者らの研究は順調に発展しているものと認められ、その展開は高く評価できる。